

## 大豆「里のほほえみ」の良質安定栽培の実証

### 要約

大豆連作ほ場において、鶏糞の施用により「里のほほえみ」の収量及び品質を確保することができる。

### ○ 展示のねらい

大豆連作ほ場で「里のほほえみ」の収量及び品質が安定する栽培方法（鶏糞の施用）を実証する。（目標単収 220kg/10a）

表1 展示内容および試験区概要 (kg/10a)

	化学肥料名 (窒素速緩比) 施用量	化学肥料由来窒 素量 (速+緩)	鶏糞由来 窒素量	総窒素量
供試区	大豆専用ひとふりくん (3:12) 40kg	1. 2 + 4. 8	3. 8	9. 8
対照区	大豆専用ひとふりくん (3:12) 40kg	1. 2 + 4. 8	0	6

鶏糞施用量：200kg/10a、鶏糞成分割合：(N1.9 : P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>4.3 : K<sub>2</sub>O3.6)

### ○ 主な成果

表2 収量・品質調査結果（坪刈り調査）

調査項目	子実重(kg/10a)	百粒重(g)	外観品質	大粒比率(%)
供試区	234.0	35.2	2等	88.9
対照区	143.9	33.8	2等	78.0

子実重、百粒重、大粒比率ともに供試区が対照区を上回った。収穫時期の好天候の影響により、虫害、しわ粒の発生が少なく、外観品質はともに2等であった。

### ○ 今後の方向性

目標にしていた以上の収量を確保することができ、また外観品質も良い結果となった。担当農家からの評価も、労力はかかるが、鶏糞の力が十分に発揮でき、十分な結果が得られたと高評価を得た。今後は、ほ場の肥沃状態を簡易な分析キットを使い確認しながら、栽培講習会等において生産者に技術の普及を図る。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：那須烏山市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315